

19:16 三日目の朝になると、山の上に雷と
いならずまと密雲があり、角笛の音が非常に高
く鳴り響いたので、宿営の中の民はみな震え
上がった。

19:17 モーセは民を、神を迎えるために、宿
営から連れ出した。彼らは山のふもとに立っ
た。

19:18 シナイ山は全山が煙っていた。それは
主が火の中であって、山の上に降りて来られ
たからである。その煙は、かまどの煙のよう
に立ち上り、全山が激しく震えた。

19:19 角笛の音が、いよいよ高くなった。
モーセは語り、神は声を出して、彼に答えら
れた。

19:20 主がシナイ山の頂に降りて来られ、主
がモーセを山の頂に呼び寄せられたので、
モーセは登って行った。

19:21 主はモーセに仰せられた。「下って
行って、民を戒めよ。主を見ようと、彼らが
押し破って来て、多くの者が滅びるといけな
い。

19:22 主に近づく祭司たちもまた、その身を
きよめなければならない。主が彼らに怒りを
発しないために。」

19:23 モーセは主に申し上げた。「民はシナ
イ山に登ることはできません。あなたが私た
ちを戒められて、『山の回りに境を設け、そ
れを聖なる地とせよ。』と仰せられたからで
す。」

19:24 主は彼に仰せられた。「降りて行け。
そしてあなたはアロンといっしょに登れ。祭
司たちと民とは、主のところに登ろうとして
押し破ってはならない。主が彼らに怒りを発

せられないために。」

19:25 そこでモーセは民のところに降りて行
き、彼らに告げた。

神様の権威は私たちの心の中だけのものではあ
りません。全地を揺るがすほどのもの、すなわち
全世界を変えるほどのものです。この主の前に私
たちはひれ伏すしかないものです。

主を、または主のみことばを自分の都合や主張
に合わせて、いいように用いたりすることは有り
得ないことです。十字架の主の赦しを求めつつ、
自分を見つめ直しましょう。

「民はみな震え上がった。」とあります。私た
ちも震え上がるほどの神体験をしたいものです。
それには、私たち自身がまず主の前にひれ伏して、
その主権を認めることです。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の
約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願い
など）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのど
の部分の主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

